

## 宗教哲学者・鎌田東二さん(阿南出身)

# 詩集・CD「絶体絶命」を発売

阿南市出身の宗教哲学者鎌田東二さんが詩集「絶体絶命」を出版した。コロナや自然災害、戦争などさまざまな危機に直面する中、魂の叫びを詰め込んだ一冊だ。同じタイトルのCDアルバムも発売。自身を神道ソングライターと名乗る鎌田さんが「絶望と希望の音語り」を披露している。

さまざまなレベルで今の世界が絶体絶命な状況にあると感じている鎌田さん。コロナやウクライナ紛争など、最近の問題について直接的な言葉はないが、神話の世界になぞらえた一つの作品に平和への願いや祈りが込められている。

「なぜこれほどの重荷を背負わねばならないのか？」と題した詩は、こう締めくくられる。

〈教えてください おほくにぬしよ／大国主の神／わたしはあなたに教えを請いたい／どうすれば殺し合いの連鎖から抜け出ることができるのかを／どうすれば暴力を押しとどめ 平安に導くことができるかを／大国主の大神よ！〉

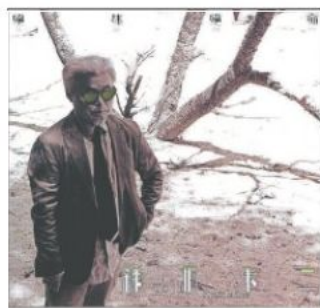
## 世界の絶望と希望歌う

「国譲り」では〈非常事態である／異常事態である／緊急事態である〉、「阿鼻叫喚」では〈どのつまりは／狂天慟地から一歩進んで／絶体絶命〉と、強い言葉で訴え掛ける。

終詩の「聴耳頭巾」も鎌田さんの思いを代弁している。〈おもいだして！／わすれないで！／つたえてゆけ！(略)あとに

CDは、鎌田さんが作詞作曲した「神ながらたちはへませ」を探すために生きてきた「銀河鉄道の夜」など13曲を収録。絶望の底から立ち上る勇氣を与えてくれる。「銀河鉄道の夜」は、ベースと歌で細野晴臣さんがコラボしている。(柏木康浩)

詩集は土曜美術社出版販売刊、2200円。CDは自主制作、2800円。http://k-i-project.myshopify.com/で注文可能。



【右】鎌田さんのCD「絶体絶命」のジャケット【左】鎌田さんの詩集「絶体絶命」

